

# 統計アラカルト

熊本の統計情報 平成24年12月28日

県民の皆様に統計を身近に感じていただくためのページです。

毎月1回のペースで色々な統計に関する話題・データを紹介します。

## 味噌の消費 熊本は全国第2位

一般的に、主食とする穀物のうち、特に重要な米(こめ)、麦(むぎ)、粟(あわ)、豆(まめ)、黍(きび)又は稗(ひえ)の5種類が五穀といわれています。

黍(きび)と稗(ひえ)って何だっけ?と思われるかも知れませんが、黍(きび)は、イネ科キビ属の1年草で“お腰につけた「きびだんご」一つ私にくださいな”のキビです。

また、稗(ひえ)は、イネ科ヒエ属の植物で、脱穀(穂からの穀粒の離脱)、脱稃、精白が大変なのだそうです。焼畑で収穫された稗(ひえ)を木臼に入れて杵でつくるときに歌われる「庭の山椒(さんしゅう)の木 鳴る鈴 かけてヨーホイ 鈴の鳴る時や出ておじゃれヨーゝ」と謡う「ひえつき節」は、稗の脱穀から精白までの農作業の大変さを表したものです。



キビの写真

さて、豆(マメ)の種類には、小豆(あずき)、大豆(だいず)、インゲン、落花生、えんどう豆、ささげ、そら豆などが。豆の中でも特異的な存在のマメは「落花生」。「落花生」は字の如く、「花が落ちたところ(土の中)に莢(さや)が生まれるという変わった植物であることはご存知ですか?

もうすぐ正月、おせち料理定番の「黒豆」は、「新しき1年を、まめに働き、健康に暮らせるようにと願いが込められた食べ物」ですが、黒豆は大豆の一品種、「大豆」の仲間です。



大豆の栄養価は、タンパク質や脂肪、鉄分、カルシウム、ミネラルを多く含んでいるといえます。大豆は、マメ科の一年草で種子が食用となりますが、未成熟の種子は枝豆と呼ばれています(枝豆という豆が栽培されるわけではありません)。南東北の宮城県などでは、ゆでた枝豆の皮をむき、すり潰した「ずんだ餡」を餅にまぶした「ずんだ餅」が造られて、地域の郷土菓子として有名です。

世界の「大豆」・「落花生」生産量

大豆 (千トン)					落花生 (千トン)				
順位	国(地域)	2008年	2009年	2010年	順位	国(地域)	2008年	2009年	2010年
	世界全体	231,218	222,989	261,577		世界全体	38,023	36,599	37,665
1	アメリカ合衆国	80,749	91,417	90,610	1	中国(香港, マカオ, 台湾含む)	14,341	14,765	15,709
2	ブラジル	59,833	57,345	68,519	2	インド	7,168	5,510	5,640
3	アルゼンチン	46,238	30,993	52,677	3	ナイジェリア	2,873	2,969	2,636
4	中国(香港, マカオ, 台湾含む)	15,542	14,981	15,083	4	アメリカ合衆国	2,342	1,675	1,885
5	インド	9,910	10,050	9,810	5	セネガル	731	1,033	1,287
6	パラグアイ	6,312	3,855	7,460	6	ミャンマー	1,305	1,362	1,135
7	カナダ	3,336	3,507	4,345	7	インドネシア	774	778	780
	日本	262	230	223		日本	19	20	16

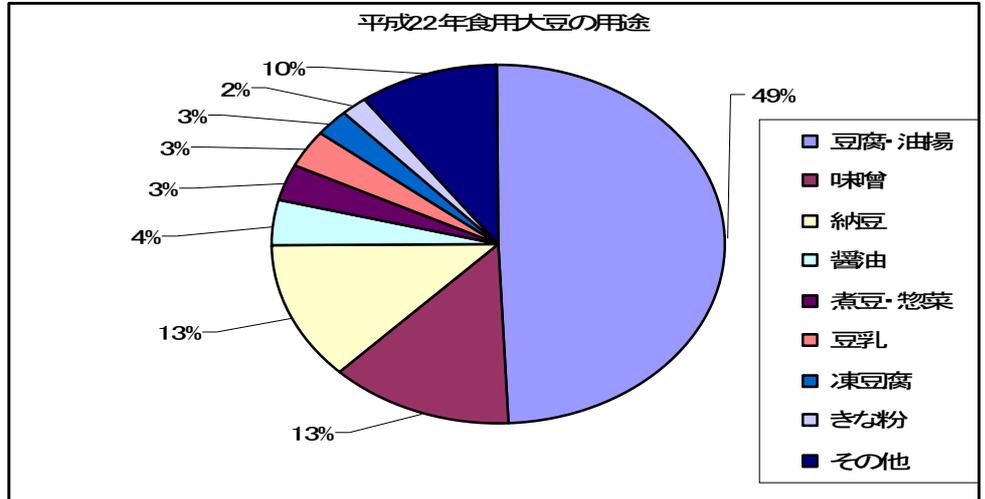
出典: 世界の統計2012(総務省統計局)

平成22年の世界の大豆生産量は2億6千57万7千トンに対し、日本国内の生産量は22万3千トンです。そして、日本国内の需要量(油糧用と食品用)は約364万トンに対し、輸入大豆が約342万トンで自給率は約6%となっています(食品用需要量約98万トンに対する自給率は約22%に上昇します(ただし、大豆栽培の種子7千トンを除いた数量21万6千トンで算出))。

日本国内の食品用需要量の内訳は、上位から①豆腐・油揚げが48万トン、②味噌12万7千トン、③納豆12万3千トン、④醤油3万9千トン、⑤煮豆・惣菜3万3千トンなどとなっています(農林水産省食料産業局食品製造卸売課の推計)。



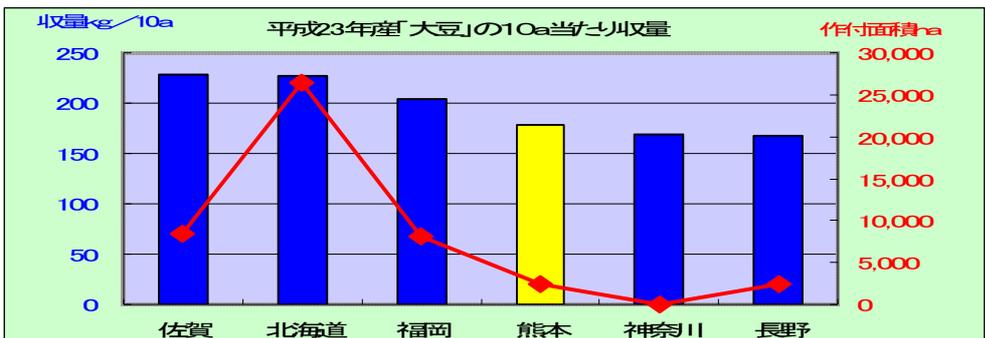
豆腐:くまもとふるさと食の名人から引用



さて、国内で最も生産量が多く、国産大豆の代表選手となっているのが「フクユタカ」。熊本県内でも「フクユタカ」が栽培の殆どを占め、納豆用に小粒大豆の「すずおとめ」などが栽培されています。



左が「すずおとめ」 右は「フクユタカ」



熊本県内における大豆栽培面積は2,470ha、収穫量は4,420kgと少ないけれども、10アール当たりの収穫量は179kgで全国第4位。消費面では、味噌の消費(金額)は全国第2位(味噌の神様を奉った味噌天神があるのは全国で唯一熊本県)、西日本一の納豆消費など、大豆の恩恵を受けているのです。

みそ				しょう油			
順位	全国	金額:円	数量:g	順位	全国	金額:円	数量:ml
1	長野市	3,796	9,710	1	松江市	3,675	9,831
2	<b>熊本市</b>	<b>3,459</b>	9,704	2	山形市	3,549	9,657
3	大分市	3,433	9,043	3	佐賀市	2,798	9,166
4	宮崎市	3,274	8,982	4	高松市	2,658	8,607
5	山形市	3,183	8,935	5	北九州市	2,640	8,321
6	浜松市	3,163	8,769	6	鹿児島市	2,630	8,020
7	盛岡市	3,022	8,646	7	大分市	2,612	7,754
8	秋田市	3,017	8,195	8	<b>熊本市</b>	<b>2,496</b>	7,660
9	北九州市	2,934	<b>8,103</b>	9	福島市	2,447	<b>7,382</b>
10	仙台市	2,926	7,925	10	山口市	2,401	7,278

総務省家計調査(二人以上の世帯) 都道府県庁所在地及び政令指定都市(※)別ランキング(平成21~23年平均)

熊本県の統計情報は「 <http://www.pref.kumamoto.jp/site/statistics/> 」をご覧ください。

次回の「統計アラカルト」は、1月25日(金曜日)に掲載予定です。

問合せ先: 熊本県企画振興部統計調査課交通政策・情報局 総務資料班 〒869-8570 熊本市中央区水前寺 6-18-1

電話: 096-333-2174 / Fax: 096-384-7544 / メール: toukeichousa@pref.kumamoto.lg.jp